

障害者スポーツ大会の

いろいろ

いきなり「オリンピック」に出場できないように、障害者スポーツも数々の大会に出場し、記録をおさめていかなければ「パラリンピック」への道は開けません。「大会」といっても様々な大会があり、標準記録(高レベルの記録設定)が設けられ、相当な練習を積まないとは出場できないトップアスリートのための大会から、スポーツを始めたばかりの人でも出場できる大会まで様々な大会が開催され、レベルに合わせて出場することができるのです。

大阪府内の大会

大阪府身体障害者スポーツ大会

- ・1年に1度、大阪府内の身体障害者の選手が集う大会で、今年で38回を数える大会です。
- ・大阪府内在住の16歳以上の身体障害者なら、誰でも参加できる大会で、全国身体障害者スポーツ大会の選手選考会も兼ねて開催され、全国トップクラスの選手から、競技をはじめたばかりの選手まで、様々な選手が出場します。
- ・今年は、5月21日(日)に万博記念競技場で陸上競技が、5月28日(日)には、大阪府立障害者交流促進センター(ファインブラザ大阪)で、水泳競技・卓球競技・アーチェリー競技が開催されます。

全国規模の大会

全国身体障害者スポーツ大会

- ・「身障国体」とも呼ばれている大会で、その年の国体の後に、同じ都道府県を会場にして、秋に開催されます。
- ・競技種目は、陸上・水泳・卓球・アーチェリーの個人種目と、車椅子バスケットボール・バレーボール(聴覚障害)・グランドソフトボール(視覚障害)の団体種目の7競技が行われます。
- ・この大会は、標準記録等の規定はなく、各競技連盟等への登録も必要ありませんが、都道府県の選考会を突破する必要があります。
- ・身体障害者スポーツの最初の目標となる全国大会で、現在、日本のトップアスリートの中にもこの大会を世界への第一歩とした選手も多数います。平成12年度は富山県において、10月28、29日の2日間で、「きらりんピック富山」として開催されます。

全国知的障害者スポーツ大会

- ・「ゆうあいピック」と呼ばれている大会です。
- ・国体・身体障害者スポーツ大会とは、全く別に開催されます。
- ・競技種目は、陸上・水泳・卓球・ボウリング・フライングディスクの個人種目と、バスケットボール・バレーボール・ソフトボール・フットベースボール・サッカーの団体種目の10競技が行われます。
- ・平成12年度は岐阜県において、10月21、22日の2日間で、「ゆうあいピック岐阜大会」として開催されます。

「ゆうあいピック」の愛称の由来

「友愛」、「You(あなた)とI(私)」の言葉から、この大会に参加する全ての人達の友情の輪を広げるといった願いが込められています。



全国身体障害者
スポーツ大会

予選の成績により選抜します

都道府県大会

市町村に申し込み

平成13年度より、「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」として別々に開催されていた大会が統合され、「全国障害者スポーツ大会」として開催されることになりました。第1回大会は、宮城県において、10月27～29日の3日間で、「翔く・新世紀みやぎ大会」として開催されることとなっています。

各競技それぞれに、たくさんの大会が開催されています。

陸上、水泳、スキー等は、日本選手権とは別に、標準記録を設定し、より高い競技性を持たせた、トップアスリートの大会である、「ジャパンパラリンピック大会」も開催されています。障害者の全国大会が開催されていない競技においても、一般の大会の中で、ひとつのカテゴリーとして開催されている競技もあります。車椅子マラソンや、車椅子テニスでは、世界のトッププレイヤーが出場する国際大会も国内で開催されており、より高いレベルの競技を観戦することもできます。